

データセキュリティの未来

VISA

PCIDSS セキュリティフォーラム

2014年7月29日

井原 亮二
ビザ・ワールドワイド

将来予測に関する記述および免責条項



本プレゼンテーションには、1995年私的証券訴訟改革法(the Private Securities Litigation Reform Act of 1995)に定義された意味における将来予測に関する記述が含まれています。将来予測に関する記述は、通常、「目的」、「目標」、「戦略」、「機会」、「継続する」、「可能である」、「であろう」などの用語や、その他の類似した表現を含むことから特定されます。このような将来に関する記述の例としては、会社の戦略と製品の目標、計画、目的についてなどが挙げられますが、それらに限定されるわけではありません。将来予測に関する記述は、その性質上、(i)その記述がなされた時点のことを述べるもので、(ii)歴史的事実を記述したり将来のパフォーマンスを保障するものではなく、(iii)予見または数値化することが困難なリスク、不確実性、及び想定(仮定)、状況の変化の影響下におかれます。したがって、実際の結果が、将来予測に関する記述に比して実質的におよび不利な方向に異なってしまう可能性があり、そのような差をもたらす様々な要因には、新たな法律、規制および市場障壁の影響；インターチェンジ払い戻し手数料、独占禁止、租税等の訴訟や政府による施行の進展；新たな訴訟、調査もしくは訴訟手続き、または係争中の訴訟、調査もしくは訴訟手続きに関連した当社の潜在的リスクの変化；経済的要因；競合他社からの圧力、急速な技術的發展、当社のペイメントネットワークからの金融機関離れ等の業界の進展；システム開発；Visaヨーロッパがその権利を行使してその発行済み株式のすべてを当社が取得するよう要求した場合のコストの発生；組織としての有効性または主要従業員の喪失；買収の不成功、または新たな商品やビジネスを効果的に開発できないこと；自然災害；テロリストによる攻撃、軍事紛争または政治紛争、ならびに公衆衛生における緊急事態；弊社最新の10-K様式年次報告書および弊社最新の10-Q様式四半期報告書の「リスク要因」の項目で検討されているその他の要因、などが含まれます。このような記述には、過剰に依存すべきではありません。

研究、調査結果、リサーチ、推奨、および機会の評価は、情報提供のみを目的とするものであって、マーケティング、法律、規制その他に関するアドバイスとして、これに依拠すべきではありません。推奨や機会については、貴社独自の事業上のニーズおよび適用法や規則に照らして、独立に評価すべきです。Visaは、貴社による、研究、調査結果、リサーチ、推奨、機会の評価、およびそれらのいかなる性質のエラーも含めた使用、又は、その使用を通じて貴社が導き出すかもしれない想定(仮定)もしくは結論についての責任を何ら負いません。統計的有意差が特に記されていないければ、調査結果は方向を示すだけのものとみなされるべきです。

10年前と今日

2004年

6.4B

人口



1.75B

モバイル台数



2013年

7.1B

人口

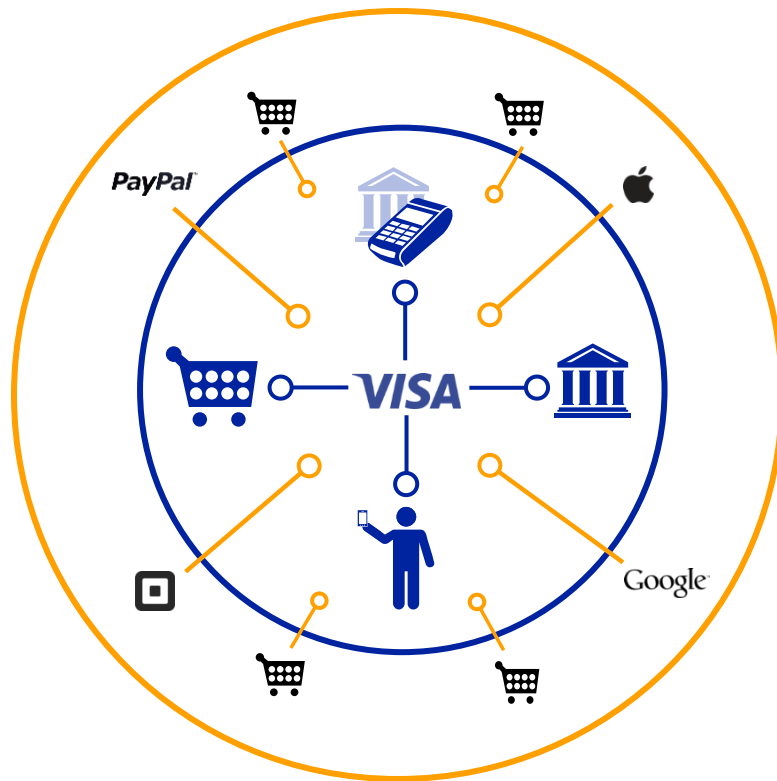
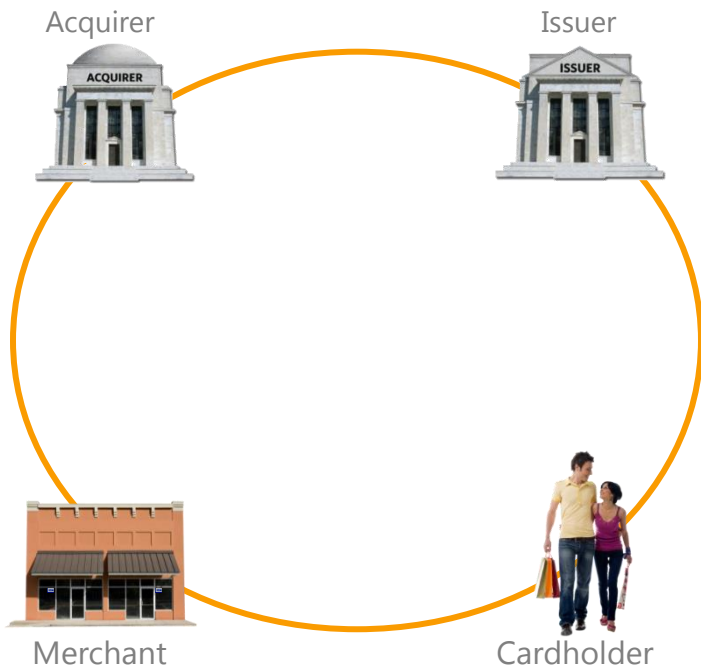


6.8B

モバイル台数



エコシステムは規模と多様化において成長



エコシステムは規模と多様化において成長



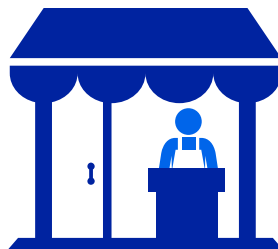
CARDS

2004年

2013年

2.19B ▶ 7.37B

+236%



ACCEPTANCE LOCATIONS

2004年

2013年

24.6M ▶ 35.9M

+45%



THIRD-PARTY AGENTS

2004年

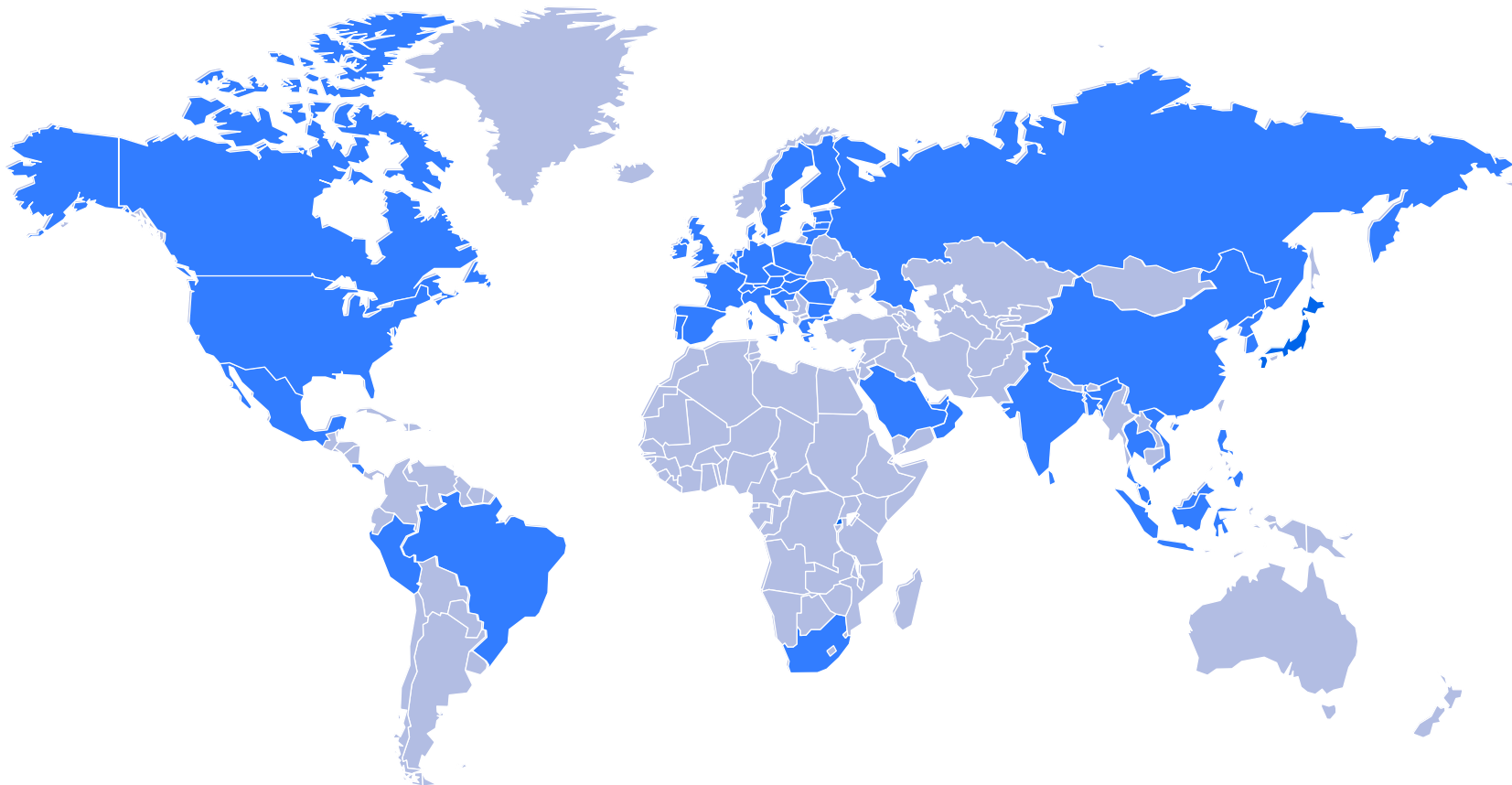
2013年

809 ▶ 4,093

+405%

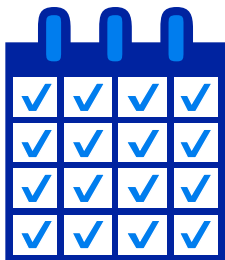
Source: Agents registered by clients and Card Vendors approved by Visa - 2013

行政への貢献活動は世界的規模で進んでいる



犯罪者はより洗練された攻撃を始めている

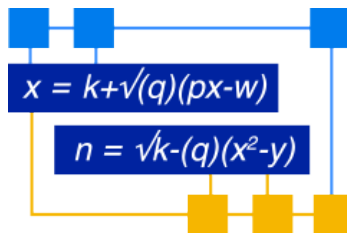
今日



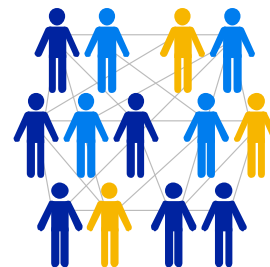
頻度



震度



洗練化



組織化

Our work is never done



Data
Security

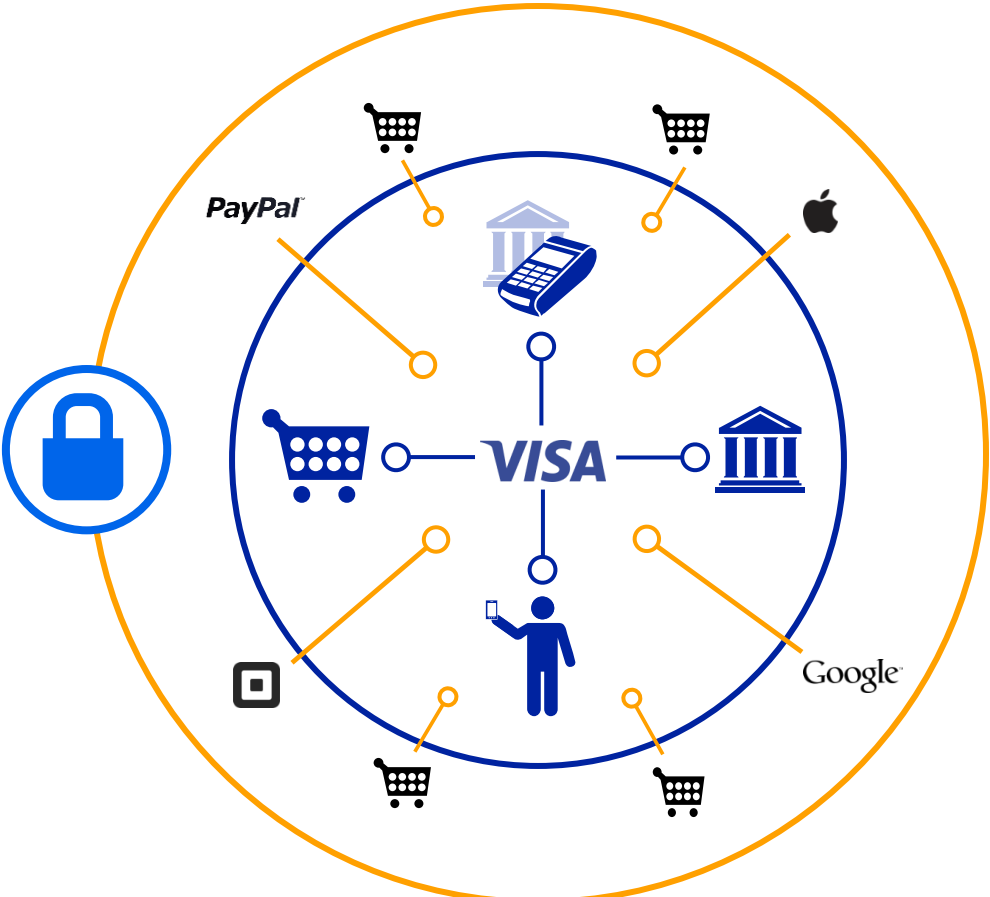


Data
Devaluation



Breach
Response

データの保護はビジネスの基盤



Data Security



Data Devaluation



Breach Response

データは無価値化できる-すべてのチャンネルにて



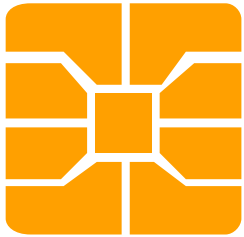
Data
Security



Data
Devaluation



Breach
Response



EMV



Tokenization



Point-to-point
encryption

EMVは偽造のために再使用できない 動的なデータを生成することが可能



Data Security



Data Devaluation



Breach Response



eコマースチャネルを安全にするために...

...Tokenization は答えを提示する



Data
Security



Data
Devaluation



Breach
Response



"Point-to-point encryption"は伝送されるデータの安全を確保する



Data
Security



Data
Devaluation



Breach
Response



消費者



加盟店 POS



暗号化され
たカード番号



アクワイアラ
ネットワーク



復号化され
たカード番号

分析はデータ流出を早期に検知する...

教育と連携は必須



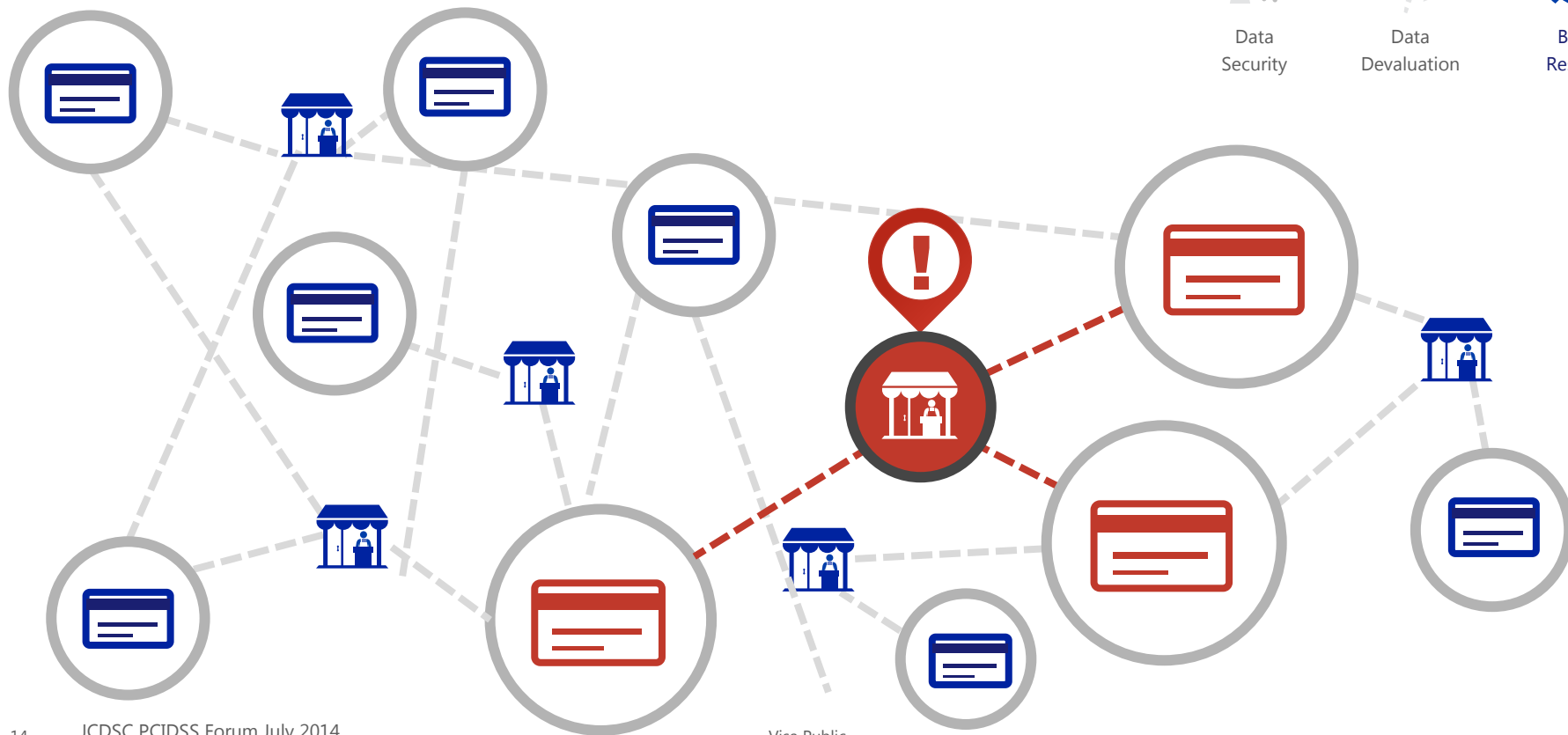
Data Security



Data Devaluation



Breach Response



クレジットカード決済の健全な発展に向けた研究会

中間報告書

(情報漏洩)

- 加盟店に対し、カード情報非保有化の徹底を図る。
- やむを得ずカード情報を保有する加盟店及び決済代行会社などプロバイダーに対しては、PCIDSSへの準拠を求める。
- 国際的な基準に見合ったPOS端末の安全性確保に向けたガイドラインの作成。
- 加盟店からの情報漏えいを防ぐ取組を加盟店自身に求めるルール等を検討。
- ATMについても、スキミング被害防止に向けた様々な対策を講じるよう求めていく。

ありがとうございました

VISA